



見守り活動NEWS！

<第6号「事例紹介」>

みなさまから、令和3年度中に『見守り活動において「こんなことがあった」事例を教えてください』とお願いしたところ、「西千葉地区部会」「白旗台地区部会」「松ヶ丘地区部会」「星久喜地区部会」「川戸地区部会」「星久喜地区部会」「小中台東地区部会」「301 地区部会」「緑・黒砂地区部会」「小中台西地区部会」「白井地区部会」様よりご紹介を頂きました。お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

感謝されたこと、役に立ったこと、残念だったことまで、様々な悲喜こもごもの事例をご紹介いただきました。プライバシーの問題、担い手不足など課題も多いとは存じますが、少しでも皆様のご参考になればと思い、事例の一部を掲載させていただきます。

なお、個人情報保護の観点から、一部事実と違うもの、脚色しているもの、掲載を見送ったものがございます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

令和4年6月 千葉市社会福祉協議会

事例1

見守り対象者	Aさん（男性・80歳代）
異常サイン	玄関先で倒れていた。
対応状況	Aさんに声掛けしたところ意識ははっきりしており頭は打っていないので大丈夫とのことで自宅に帰るの見届けた。
対応結果	後日、自治会長と民生委員に報告し、今後も気に掛けることとした。

事例2

見守り対象者	Bさん（女性・80歳代）
異常サイン	ずっと雨戸が閉まっている。よく散歩していたのに最近見かけない。
対応状況	ご近所から情報収集をして「近況をお知らせください」という手紙をポストに入れた。
対応結果	後日、ご家族の方から施設に入居されたと連絡があった。





事例 3

見守り対象者	Cさん（女性・80歳代）
異常サイン	カーテンがずっと閉めっぱなしだった。
対応状況	Cさんの息子に連絡し、大家さんから鍵を借りCさん宅に入ったら、自宅で倒れていたのので、救急車を要請した。
対応結果	病院で緊急治療をしたがお亡くなりになった。もし異常に気付いていなかったら長期間自宅で放置された状態になっていた可能性がある。

事例 4

見守り対象者	Dさん（女性・80歳代）
異常サイン	雨戸がずっと閉まっている。暑い時期なのにエアコンがずっと作動していない。電話や訪問に応答がない。
対応状況	救急車が来ていたとの情報を得たので、警察に問い合わせたら本人が救急搬送を拒否して搬送されていないことがわかった。そのため警察に同行依頼して本人宅を訪問したところ玄関のドア越しに本人のかすかな声を確認。
対応結果	玄関で動けなくなっていたためそのまま救急搬送された。

事例 5

見守り対象者	Eさん（男性・70歳代）
異常サイン	月2回見守り隊が訪問しており、訪問時にいつも玄関口から声かけに応じてくれるEさんの応答がなく、外出用の自転車が残っているため違和感があった。
対応状況	Eさん宅の近所の親族宅に状況を報告。
対応結果	報告した日のうちに親族がEさん宅を訪問したがお亡くなりになっていた。

事例 6

見守り対象者	Fさん（女性・80歳代）
異常サイン	見守りの対象者として登録はなかったが、たまたま通りがかった時に窓越しに倒れているところを発見。
対応状況	意識はしっかりしていたが、かかりつけの病院で診てもらうことになった。
対応結果	脱水症と貧血気味であったが、発見が早く大事に至らなかった。 病院では数日間入院を勧められたが、本人が自宅に帰りたいということで本人は入院せず帰宅。 本人を見守り対象者として、支援することになった。